

2020年9月14日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- 中東時事・ワシントン中東和平調印式 -

[YouTube : 2020年9月14日中東時事アップデートbyAmirTsarfati](#)

[アミール] シャローム、皆さん、アミール・ツアルファティです。一緒にいるのは、バリー・スタグナー牧師です。シャローム、バリー。

[バリー牧師] シャローム、パソコンの画面ではなく、お互いの顔を見合わせているのは良いですね。

[アミール] 本当に。顔と顔を合わせて、バリー牧師の本拠地であるカリフォルニア州オレンジ郡にいます。屋外で座っています。太平洋の海の音が聞こえてきて、かなり蒸し暑いですが、いいお天気です。

[バリー牧師] ここにしては湿度が高いですね。

[アミール] 湿度が高いですね。火事の様子はどうですか？火事にも関係していると思いますが。

[バリー牧師] 相変わらず煙が多くて、空気も良くないし、海岸沿いは北から南まで煙が多いですね。

[アミール] 皆さんとご一緒出来て嬉しいです。これは、明日の和平調印式に関する特別中東アップデートです。イスラエル、アラブ首長国連邦、バーレーン間の和平協定の調印式典に関するものです。信じられないような歴史的な日、歴史的な時代です。その辺の話については、後ほどお話しします。その前にバリー牧師、お祈りから始めていただけますか？

[バリー牧師] 承知しました。

お父様、私たちはあなたの御言葉に感謝し、その御言葉を通して、今私たちが生きている時代について、このような素晴らしい洞察力を与えてくださり、感謝します。そして、あなたの民であるユダヤ人をイスラエルの地に引き戻してくださったことを感謝します。主よ、私たちは、その日が近づいていることを示す、はっきりとした展開を見ることが出来ます。今、この時間にあなたの祝福を求めます。イエスの御名によってお祈りします。アーメン。

[アミール] アーメン、アーメン、シャローム、皆さん。カリフォルニアのオレンジ郡からお届けします。私たちは太平洋のすぐそばにいます。今日はいいいお天気ですね。アブラハム協定についての中東特別アップデートです。明日、ホワイトハウスの庭でイスラエルとアラブの2カ国との間で調印されます。非常に重要なアラブの2ヶ国、アラブ首長国連邦とバーレーンです。その前に、バリー牧師、ちょっとだけ先週、中東で起きたことの中で、皆さんが知っておくべきことをいくつかご紹介します。それからもちろん、アブラハム合意を取り扱います。アブラハム合意について、皆さんが、たくさんの疑問をお持ちなのは分かっています。特に、誰もがそのことに同意しているわけではないので。しかし、私はこの協定が何を意味するのか、イスラエルにとって良いことなのか悪いことなのかを明確にしてみたいと思います。そこを明確にしないと



いけません。私を信じてください。イスラエル人として、それが私と私の国に悪いことであれば分かるはずですが、もう少ししたらその話をします。まず第一に、バリー牧師、皆さんに見てもらわないといけないのは、イスラエルが攻撃... (こちらに画像を出します。) イスラエルが再びシリアを攻撃しました。今回は... 実はここ1週間で2回攻撃しました。一回目はホムス地区でしたが、二回目はアルブカマル地区でした。そこで、いくつかの重要な構造物を破壊しまし



た。実際、皆さんにお見せしましょう。これは前後の衛星画像です。そして、これらはヒズボラが建設・運営していたミサイル工場である可能性が高いことが、はっきりと分かります。彼らはレバノンにおけるイランの代理人であり、現在はシリアでも活動しています。それで足りないなら、皆さん。ペルシャ湾でも面白いことが起きています。イランはここ数日間いくつかの演習を行いました。彼らは、自分たちが強いことを世界に示すために実弾演習を行いました。

そして、非常に興味深いのは、これから一枚の写真をお見せしましょう、バリー牧師。写真の最初の兵士を見て下さい。彼はイスラエルの武器を持っています。彼はUzi (ウージー) を持っていて、これらはイスラエルが70年代に製造した武器です。ウージーは短機関銃で、…もちろん、その頃、1979年までイスラエルはイランの同盟国でした。それで、間違っただろうかどうかは分かりませんが、間違いなく「海兵隊」が上陸している様子を見せていますが、古い武器を使っていたりしています。かなり恥ずかしいことです。私だったら、それを使ったりしないでしょう。そして、もう一つ付け加えますが、これをご覧ください。彼らは大きな船を見せていますが、それらの水陸両用車は古いものです。これらも1970年代のもので、繰り返しますが、私がイラン人だったら…彼らが使っているこの種の武器を世界に見てもらいたくはないでしょう…



さて、ここ数日の間に起こったことで、もう一つ知っておいていただきたいのは、もちろんアラブ連盟が会合を開き、イスラエルとアラブ首長国連邦の和平合意を否定するというパレスチナの要求を採用しないことを決定したということです。説明させてください。アラブ連盟は1945年にカイロで設立されました。当初は5ヶ国のメンバーでしたが、現在は22ヶ国になっています。しかし、それは長年の間、パレスチナ人がイスラエルを攻撃するための主要なプラットフォームでした。アラブ世界から、イスラエルを攻撃するためにも。それは地域的なもので、言うまでもなく、国際的に拘束力のあるものではありません。しかし、それはアラブ世界が連帯を示し、一体感を示すための方法でした。パレスチナ人はいつもアラブ連盟で、欲しいものすべてを手に入れていました。アラブ連盟はパレスチナ人を抱き締めていました。なぜでしょう？それがイスラエルに対抗する彼らのやり方だったからです。史上初めて、アラブ連盟は、実際にパレスチナの要求を実際に阻止して、「いや、我々はこの和平を糾弾するつもりはない」と言っているのです。それは実は良いことである、と。それに対するパレスチナ人の反応は…それを今お見せしたいと思います。彼らは実際に葬式をしました。画面に映っているのは、この棺はアラブ連盟の棺です。彼らは基本的にアラブ連盟を葬ろうとしています。私の手元には、彼らが大声で繰り返している短い動画があります。それをお見せしたい



とは思いますが、要点は理解していただけたと思います。パレスチナ人はアメリカやイスラエルに失望しているだけでなく、今や、アラブ世界にも失望しているのです。サウジアラブ首長国連邦やバーレーンだけでなく、アラブ連盟全体でアラブ22ヶ国が「イスラエルと、UAEとバーレーンが平和になっても良い」と言っています。それはパレスチナ人の努力に大きな打撃を与えています。パレスチナ人は今、かつて持っていたこの支援を失ったことを嘆いています。

そして最後に、バリー牧師、皆さんにお見せしたいのは、もちろんパレスチナの通りの様子です。ご覧ください、彼らはバーレーンの王とネタニヤフ首相の写真を燃やしています。そして、それは彼らがどれだけ怒っているのかを表しています。もう一つ。ナビッド・アフカリについて。彼は世界中に知られているイランのレスリングチャンピオンです。彼は2018年に、テヘランの街頭で、学生や若者の蜂起に参加しました。彼は2人の兄弟と一緒に逮捕され、昨日…失礼、二日前に、イラン政府は彼を処刑しました。彼はイランの英雄です。彼はレスリングの





チャンピオンです。そして彼らは彼を処刑しました。そして、2人の兄弟には、多年にわたる懲役を言い渡しました。ところで、処刑を見た人たちが言うには、彼の体はすでに変形していたそうです。彼らは、文字通り、彼を虐待し、彼を殺す前から無惨なことをしていました…ちなみにドイツが、イラン外相の、ドイツと欧州への訪問をキャンセルしたのはこのためです。この件が原因で、彼は歓迎されません。ですから、イランが他国だけでなく、自国民に対しても、多くの悪事を働いていることが、よく分かります。自国民に恐ろしいことをしている、悪の政権です。

バリー牧師、ここでアップデートのテーマであるアブラハム合意の話に移るのが良いでしょう。アブラハム合意です。アブラハム合意ではありません。アブラハム合意は和平協定で、しかし、明日は和平合意とバーレーンとの和平宣言があります。と言うわけで、2ヶ国ありますが、ちなみに、すでに多くの国が列に加わっています。私たちは次はオマーンだと思っています。モロッコへの直行便が後に続くと思われる。サウジアラビアも動向をうかがっていると思います。さきほど、アラブ諸国が列に加わるという現象について面白いことを教えてくださいましたね。

[バリー牧師] ええ、面白かったです。今朝、ユダヤ系の新聞の記事を読んでいたのですが、その記事ではこの件の文化的な要素が語られていて、なぜ、このような戦術をとったのか…彼らが使っていた言葉は「天才」でした。なぜなら、アラビア語には、バランスを意味する「タフズーン」という言葉があるからです。その記事によると、それは「世間に後れを取るな」という欧米の考え方とは真逆のようなものでした。私たちは誰よりも優れていて、誰よりも抜きん出ているなければなりません。彼らはアラブの人々の間でバランスのとれたアプローチを持つことを、もっと求めています。そして、その記事は、「誰かに主導権を握らせれば、他のアラブ諸国も同調する」と述べていました。そして、これはイスラム教の一部です。これはアラビア文化の一部です。多分に平等主義に似ていて、すべてのものが平等でなければならず、だれかが別のより優れた動きをすることはできないという感じです。それで、それは面白いと思ったのです。今、あなたが言ったように、バーレーン人だけでなく、他の国も首長国に追随し始めているのが見えてきました。「これは外交の正常化であり、これは良いことなので、私たちも乗ってみよう」と。

[アミール] 非常に面白いですね。というのは、かなりの数のクリスチャンがこれを見て、何か悪いものではないかと疑っているからです。ちょっと説明させてください、皆さん。私たちが今見ているものは、オバマ大統領が穏健派スンニ派を裏切り、イラン協定に署名し、文字通りサウジアラビアや他の国々をイランに売った2015年に簡単に遡^{さかのぼ}ることができます。基本的に穏健派スンニ派の世界は、その時、アメリカは、(こういう発言を許して下さい)、しかし、オバマ大統領のアメリカは信頼するべきではない、と理解していました。そして、彼らは唯一のリーダー、オバマにさえも毅然とした態度を示した唯一のリーダーに注目していました。それがベンジャミン・ネタニヤフでした。そして彼はその場、つまり米議会でその契約に反対しただけでなく、行動も起こしました。イスラエルはイランに対して積極的に動いており、先ほど話したように、イランの標的を攻撃するだけではありません。ちなみに、アルブカマルが攻撃されたのは言うておきますが、この2年間で80回、その地域の270の異なる標的が攻撃されました。しかし、皆さんに知っておいていただきたいのは、それはオバマがイランとの取引に署名した日にまでさかのぼるのです。ところで、最近バイデンからそれについて何か聞きましたか？

[バリー牧師] ええと、彼は地下室にいました。(笑)

[アミール] しかし、彼はイラン協定に戻ると言ったんですね？

[バリー牧師] そうですね、その通りです。そのため、彼は包括的共同行動計画に戻ろうとします。

[アミール] その通りです。ですから何が起こったかという、アラブ世界はアメリカによる裏切りを見ます。そして、イランに抵抗しているのはイスラエルだけです。多くのクリスチャンや世界中の人々が理解していないのは、イランは、イスラエル以上にサウジアラビアを嫌っています。イランはイスラム教の聖地を

支配することで、イスラム世界を支配したいと考えています。勘違いしないでください。彼らは、私たちが彼らの…よく分かりませんが、第三番目の聖地を支配しているから、私たちが殺したいのかも知りませんが、でも、彼らはサウジアラビアを乗っ取りたいのです。サウジアラビアはそれを知っていて、理解しています。ですから、皆さんは理解する必要があります。彼らはイランが何をしているかを見えています。イラン以外で、その地域を不安定にしている国が他にありますか？スルタン？

【バリー牧師】 ええ、もちろんエルドアンはオスマン帝国を地図に戻したいと思っています。

【アミール】 その通りです。

【バリー牧師】 彼にはすでにスルタン候補がいます。それは彼です。(笑)

【アミール】 彼は、「我々はもはやアタチュルクのトルコではなく、オスマン帝国だ」とするために、何でもやっています。彼らはまたロシアも見ます。ロシアの大統領はツァー（皇帝）になりたがっていて、トルコの大統領はスルタンになりたがっていて、イランはもう一度、ペルシャ帝国になってイスラムを乗っ取りたがっています。彼らはそういう重要な役割を持つものたちを見て、自分たちの動きを計算していて、これは良くないと理解しています。それだけでなく、ご存知かどうか分かりませんが、アメリカは現在、イラクと中東の大部分で、その戦力を薄めています。だからアラブ人は言っています。「イランが来て攻撃してきたら、だれに味方になって助けてもらいたいの？トルコが攻撃してきたら？ロシアが何かを奪おうとしてきたら？」そして彼らはそうしてくれるのはイスラエルだということに気づいています。さて、勘違いしないでください。イスラエルの首相は、UAEの指導者とバーレーン国王と2回以上、おそらく過去2年間で3回以上、異なる場所で会談しています。そして間違いなく、今起きていることは、土壇場での選挙活動ではありません。これは、ベンジャミン・ネタニヤフが何年もかけて行ってきた、長い努力の成果です。皆さんに知っておいていただきたいのですが、私たちは間違いなくその話をしています。さて、バリー牧師、あのアラビア語の比喻のことを仰いましたね。でも、ちょっと言わせてください。私はアラビア語を話しますが、アラブの文化やアラブのメンタリティについても勉強しました。それを勉強したのは、軍隊で彼らを扱う仕事をしてきたからです。私は彼らに対処しなければならず、後に、軍の後でも彼らに対処しなければなりません。そして、アラブ世界には二つのものがあるということを知っていただきたいと思えます。言葉があり、行動があります。アラビア語には、こういう表現があります。「言葉には関税や税金を払わないから、何でも好きなことを言ってい。言葉は安い。だから何でも言える。だから、彼らはパレスチナ人にこう言うのです。「おい、あなたがたに国家を与えて、あなたがたはこうなり、我々はあなたがたを助けよう、我々はあなたがたの大義や法のために戦っているんだよ」と。彼らはパレスチナ人にこういうことばかり言います。同じ事をジャレッド・クシュナーからもトランプ大統領からも聞いてるし、イスラエル人からも聞いてるし、アラブ人からもそれを聞くでしょう。誰もがパレスチナ人に言っています。私たちはあなたがたの味方だ。あなたがたに協力したい。あなたがたは国家を持つことになる、と。しかし、実際に現場で起こっていることは、まさにその真逆、正反対のことなのです。そして、これが残念ながら、多くの人が理解していないことなんです。言葉は真剣に受け止めるべきではないという事です。実際には真逆



の行動がとられているのですから。何が言いたいのかと言うと、バリー牧師、お見せしたいものがあるのですが、これだと思います。これですね。今、画面でお見せしましょう。トランプ協定によると、イスラエルとパレスチナ人の和平合意から何が期待されているのでしょうか。これをご覧ください、目の前にあります。イスラエルに期待されていること、求められていることとは何か？パレスチナ国家を認めることと、入植地の4年間の凍結、それだけです。つまり、イスラエルはイスラエル人を一人も自宅から避難させず、4年間はこれ以上家を建てず、パレスチナ国家を認めればいいのです。「おお、パレスチナ国家とはひどい」と皆さんは言うかもしれませんが、しかし、説明しましょう。なぜ、絶対に、決して、…私の言うことをよくお聞きください…パレスチナ国家になることは決してないのか。どうして？さて、右側の列を、ご覧ください。パレスチナ人に何が求められていますか？これをご覧ください。天才的です。

1) イスラエルを新たな国境でユダヤ人国家として認める

「イスラエルをユダヤ人国家として認める。」彼らはそれを決してしないでしょ。彼らは、イスラエルがユダヤ人国家だとは思っていません。彼らはイスラエルを多民族国家だと思っています。彼らはそれはアラブ人とユダヤ人であると言い、ユダヤ人だけではありません。

2) エルサレム旧市街での、パレスチナ人の首都要求^{あきら}を諦める

気でも狂ったんですか？ほら、これはトランプ協議の一部です。旧市街にはもう何の主張もありません。エルサレムの旧市街。エルサレムには手を出さない。

3) ガザの非武装化

ハマスは昨日新兵器を見せたばかりで、彼らはいつも新兵器を見せているような気がします。つまり、そういう人たちなんです。それが彼らの本質です。ガザの非武装化とハマスの武装解除。

4) ハマスの武装解除

私はそれを、何に例えていいのかも分かりません。それが絶対に起こらない、決して起こらないということをお皆さんに理解してもらえるように。それはブラックライブズマターがトランプに投票するようなものです。私が何を言いたいのか理解できましたか？それでも足りなければ、

5) 帰還権を放棄する

他の場所にいるパレスチナ人は二度と戻ってくることはできません。それから、

6) テロ家族への支払いを停止する

皆さん、これらのことはすべて、パレスチナ人には絶対に受け入れられません。

だから彼らは、すでに断固として糾弾して、拒否しているのです。ですから、これは天才的なことなんです。トランプ氏はパレスチナ人に国家を約束し、彼らが絶対に受け入れられない条件を与えたのです。その一方で彼は言っています。「もしあなたがたが『あなたがたとの平和がない限り、アラブ世界との平和はない』とイスラエルを脅しているなら、我々はそれを切り替える。まず、アラブ世界との平和があり、それがあなたがたが私たちの条件を受け入れる要因となるだろう。」と。バリー牧師、それは天才的ではないですか？つまり、ほら、考えてみてください。中東には平和はないとずっと言われてきました。パレスチナ問題を解決するまでは。

[バリー牧師] ええ、多くの人が物事を間違った方向に捉えているのはここだと思います。彼らが気づいてないのは、この大統領は、…彼は取引を成立させるのが得意で、交渉も得意だと、率先して言うでしょう。彼のリアリティー・ショーによると、彼は人をクビにするのも得意です。しかし、どういうわけか、多くの人の考えでは、政治的なことはすべて、言わば舞台から離れてしまって、そして、あなたが指摘したことは非常に重要だと思います。なぜなら、たしかに、彼らは世界中の人が聞きたいと思うような提案をしたという事実を前面に押し出すからです。我々はパレスチナ国家を見たい。そして、彼らは条件をつけて、それを不可能にしたのです。だから、トランプ氏がこれを提案したから、アメリカでいろんなことが起きているというのは、アミール、私たちはアブラハム協定には、土地のことは何も含まれてないということを認識しなければならないと思います。土地の交換はありません。これは外交関係です。

[アミール] …超外交的で、平和のための平和、土地のことは何も扱っていません。

[バリー牧師] そうですね。

[アミール] どう言ったら、皆さんに理解してもらえるでしょうか？

[バリー牧師] はい、政治的な動きはそこでも明らかです。UAEの新聞やバーレーンの新聞を読めば、併合を阻止するためにこの協定を結んだと書いてあります。イスラエルの新聞を読めば、併合を延期すると書いてあります。

[アミール] お聞きください。私が「言葉」について言ったことを覚えていますか？

[バリー牧師] ええ、その通りです。

[アミール] 彼らを使う言葉は、パレスチナ人をなだめるために発言されねばなりません。皆さんは理解する必要があります。お見せしたいものがあるのですが、良いですか？お見せしたいものがあります。これをご覧ください。今、面白いものをお見せします。こうしましょう。よりはっきりと見てもらえるように。お見せしたいと思います。はい、これをご覧ください。これがイスラエルとパレスチナ人とのトランプ協定です。イスラエルの法律を西岸の入植地に適用する。それは併合です。併合はトランプ協定の一環です。



イスラエル人が発明したものではありません。それは取引の一部であり、今は延期されているだけです。ですから、アラブ諸国は、イスラエルに和平署名をさせるために何かに成功したと、その国民に言うことができるわけです。分かりますか？しかし、トランプ協定は実際には、そもそも併合を可能にするための取引なのです。50年以上イスラエルは西岸を支配していますが、我々はそのどこにも併合したことはありません。トランプ大統領が現われて、「それはあなたのものだ」と言います。「全ての集落、ヨルダン渓谷、死海の北部は、あなたのものです。」と。そして私の地図では…地図をご覧ください。地図の中の青い部分は全て、以前の和平計画ではパレスチナ人に与えられるはずでしたが、今、彼はイスラエルに与えています。それは併合なのです。人々は併合が、現実には取引の一部であることを理解していません。彼が何と言っているか見てください。米国のエルサレム承認は…何と？「イスラエルの分割されていない首都として。」ちなみに、これらはすべて和平案の一環です。それから、彼らは何と言ったでしょう。「パレスチナの首都、それは東エルサレムのアブ・ディスになる。」私はアブディスを知っています。兵役中、私はそこにいました。そこは、エルサレムではありません。それはエルサレムの外にある村で、この協定のために、今は東エルサレムと呼ばれています。分かりますか？彼らは1平方インチ(6.45cm²)たりとも、取得することはありません。彼らはどうせこの取引を受け入れる事はないので、どうでもいいのですが。しかし、仮に彼らが取引を受け入れたとしても、彼らにはエルサレムには1平方インチもなく、彼らには、イスラエルが併合しようとしている地域のどこにも、1平方インチもありません。もちろん、他にもその辺にあるものは全部見られません。では、バリー牧師、多くのクリスチャンが「平和条約」という言葉を聞くと、驚いてそんなに神経質になる原因は何でしょうか？

[バリー牧師] そうですね、反キリストによって契約が結ばれることを知っているからだと思いますし、そして、何らかの交渉があるときはいつも、誰もがこの話をしたがります。特にアメリカの聴衆にとっては今言われたことを理解する方法があると思うのです。とても大事なことです。そして皆さん、ご存知のように、私たちはここオレンジ郡にいます。オレンジ郡には野球チームがあり、それはオレンジ郡にあります。オレンジ郡のど真ん中にあるアナハイム市にあるのに、アナハイムのロサンゼルス・エンジェルスと呼ばれています。私たちはロサンゼルス市にはいないし、ロサンゼルス郡でもありませんが、ロサンゼルスという言葉と名前のマーケティング能力の高さから、ロサンゼルス・エンジェルスと呼ばれるようになりました。だから、特定の地域と結びつけることには、財政のためにメリットがあり、だから彼らは名前を変えるわけです。ここでも同じことが言えます。より広いコミュニティ、アラブのコミュニティで受け入れられるために、彼らは、オレンジ郡がLAではないように、エルサレムではないこの特定のエリアを名付けました…

[アミール] エルサレムではありません。今、現在も、パレスチナの支配下にあります。今でもエルサレムの一部ではありません。

[バリー牧師] でも、エルサレムと呼ばば、皆が喜ぶんですよ。

[アミール] そうです。東エルサレムと名付けます。その一つ前では、イスラエルの未分割の首都は、エルサレムだと。分割されていない。さて、もう一つ言いたいことがあります。バリー牧師。この24時間の間に、私はたくさんの人たちから質問を受けました。和平交渉とカリフォルニアの火事や、アメリカが経験してい

る全ての事との関連性について。これは初めての事ではありません。ハリケーンでも、竜巻、洪水、火事でも、アメリカで起こる悪いことはいつも大統領がイスラエルにした何事かのせいにされます。ええと…それについてどう思いますか？

[バリー牧師] 私はアブラハムがソドムとゴモラの町を巡って、主と交渉した時のことを思い出します。そして彼は言いました。

「…全世界をさばくお方は、公義を行うべきではありませんか。主よ、正しい者と悪い者とが同じようになるというようなことを、あなたがなさるはずがありません。…」(創世記18:25a)

そして、それを見てこの状況に当てはめると…私はいつも次のように言い換えます。神は、こんにち人々が言っていることよりも優れた目的を持っておられます。もしこれらの合意をした者がいて、彼らは裁きと罰を受けるに値するなら神は御怒りで、罪のない人々の家を焼き討ちにはしないでしょ。あなたがたのしたことが気に入らないから西海岸全体に火をつけてやると言って、そのために放火魔や、他にも色々と証明されているものを利用しよう…

[アミール] 乾季ですよ。火事の季節ですよ。お言葉ですが、放火はどこにでもあり、これはブラック・ライフズ・マターとアンチファの仕業です。それは分かっています。

[バリー牧師] 彼らはその人たちを逮捕しています。

[アミール] そして、林業と植林に過失があることが分かっています。それ(火事)には様々な理由があります。私はいつも言っているのですが、皆さん、信じてください。ここでイスラエルは問題にならないはず。もし神がアメリカ西海岸をどうにかして裁きたいと思われるのなら、そうするのに、はるかにふさわしい理由があります。たとえば、小児性愛(ペドフィリア)...

[バリー牧師] 東海岸で起きたことです。

[アミール] 私が言いたいのは、こうです。理解していただきたいのは、ここで起こっていることは、アブラハム合意による神の裁きとは関係がないと、私は思っています。事実、もっと詳しくお話ししましょう。聖書的に、エゼキエル38章のシナリオが実現しようとしていると信じるなら、イスラエルは強く、安全で、安心で、繁栄していなければなりません。イスラエルが強く、安全・安心で、繁栄するためには、これらの平和協定が不可欠です。実際、バリー牧師、私たちはイスラエルへの侵攻を批判する国は誰なのかという話をしましたね。それらの国々は、実際に我々の味方をしている同盟の一部ではないですか？

[バリー牧師] 彼らは抗議者です。それと、あなたが先ほど言ったことと組み合わせて考えると、シリアでの攻撃回数については、どのような数字を出していましたか？

[アミール] アルブカマルでは80回で270ヶ所の攻撃があります…2年間で80回、同じ領域で270ヶ所の標的。標的。標的。

[バリー牧師] それはとても重要だと思えます。なぜなら過去の歴史を見てみると、これらの小競り合いがあったり、中には、レバノンとの激しい戦いがあったり、イスラエルが国家としての地位を確立した日からずっと続いてきた問題があったりします。そして、いつもこの押しがあって、小競り合いがあって、それから、平和な時があるんですね。しかし、すべてが前進しています。あなたが話していた事も含め、こういうのが続いているだけでシリアの境界線内での攻撃、イスラエルの北の国境、そこからこれらの国々が引張って来られることとなります。そして今、それに組み合わせて、このような外交関係の進展があって、それはまさに、聖書が名指している地理的な地域との間で進められています。彼らはこう言うこととなります。「この侵略の目的は何なのか？物を分捕り、獲物をかすめ奪うために来たのか？」(エゼキエル書38:13参照)つまり、すべてが同じ方向に進んでいるわけで、これは私たちにとっては刺激的なことのはずです。

これがカリフォルニアで火事が起きた理由だと言っても、私たちは聖書的には公平ではないと思います。この二つは全く関係のないことです。あなたが言ったように、カリフォルニア州の火事についてのコメントの一つに、今は厳しい時です。なぜなら、実際、火事のシーズンが始まるのは10月なのに、ここカリフォルニアでは、記録的な数値の面積が焼失しています。そして繰り返しますが、複数の放火犯が逮捕されています。ある男は、昨日だったか、火炎瓶を雑木林に投げ込んで火事を起こして逮捕されたんですよ。そして、ユタ州でも同じことが起こりました。それらは、放火による火災であることが証明されています。そして繰り返しますが、アミール、私に言わせれば、次のように言うのは非論理的にしか思えません。神は前例を破って、神の御怒りから民を取り除かないか、神は彼らを、彼らが所有しているもの、持っているものごと、一緒に滅ぼそうとしている。それは聖書の前例や、神のご性質とは矛盾しています。神はまだ私たちを取り除いておられないので、私たちは患難時代に向かって進行中と言うことになるはずですよ。イエスがおっしゃったように、産みの苦しみが徐々に強くなって。事態はどんどん悪化しています。そうして主は、私たちを取り除いてくださり、それから物事はさらに悪化するでしょう。

[アミール] そうなんです。私はそれにトランプ大統領が反キリストのような存在かもしれないとほめかす考え方も好きではありません。どうして？イスラエルにとって良くないかもしれない平和条約を結んでいるから。ところで、ちょっと言わせてください。反キリストがイスラエルにもたらそうとしている平和条約は、イスラエルにとって良いことでしょうか。彼はそれを悪くするためにそれを破るのです。しかし、なぜイスラエルはそれを受け入れると思いますか？なぜなら、それは良いものだからです。それは彼らが神殿を建てることを許可します。それは彼らが繁栄することなどを可能にします。もちろんそれは欺きなんですけど、イスラエルにとっては良いものです。彼がそれを破って、神殿に入って自分をカミと宣言するからこそ、もちろんそれが物事が狂いだす時です。皆さん、反キリストの名前の一つが「不法の人」であることを知っていただきたいと思います。真面目な話、トランプ大統領は「法と秩序」と言います。不法と残虐ではありません。そして、人々はしばしば、反キリストとは何か、反キリストとは何者なのかを理解していないことが多いのではないのでしょうか。そして、彼らは聖書に書かれていることを理解せずに、そのように名前をやたらと持ち出します。そして、それを理解してもらうことが重要です。黙示録の13章で、聖書は反キリストについて次のように述べています。聖書にはこう書かれています。お読みします。

「その頭のうちの一つは打ち殺されたと思われたが、その致命的な傷も治ってしまった。そこで全地は驚いて、その獣に従い、そして、竜を拝んだ。獣に権威を与えたのが竜だからである。また彼らは獣をも拝んで、『誰がこの獣に比べられよう。だれがこれと戦うことができよう』と言った。（黙示録13:3-4）

皆さん、勘弁してくださいよ。今読んだ内容の半分も当てはまるような世界のリーダーが今の時代にいますか？いいえ、それは世界がこれまでに見たことのないようなものになるでしょう。彼には超自然的な現象が伴うでしょう。聖書によると、竜、サタンは彼に権威と座を与え、その力を与えます。なぜ、史上最も小さな命を尊重し、家族を大切に、キリスト教を尊重し、親イスラエルであることが証明されている米大統領の名前を持ち出して、反キリストのようなレッテルを貼るのですか？その理由は？イスラエルに平和をもたらすため？パレスチナ人をはめて、彼らが同意しないすべての事にイエスと言わざるを得なくさせるため？皆さん、聞いてください。それは非常に、非常に、非常に、非常に深刻です。2か月もしないうちに投票することになりますね。人々は、ドナルド・トランプは悪だという認識を持っていて、投票に行かないと思っています。ひとこと言わせてください。トランプに投票しなければ、バイデンに投票したようなものです。バイデンはこれまでで最も中絶賛成、反イスラエル、親社会主義、親共産主義の候補者です。私には理解できません。すべてのクリスチャンはトランプに投票しなければなりません…ほら、私はアメリカ人でもなく、共和党員でもありません。私がアメリカの政党を推奨しても、私がそれに属しているからと責めることは出来ません。私はイスラエル人です。でも、あなたがアメリカにいながらトランプに投票しないなら、頭がおかしいに違いありません。私に一つ言えることは、この人はイスラエルを愛しているということです。彼は神を愛し、キリスト教を愛し、胎児を愛し、家族を愛しています。たしかに、彼は牧師でもイエス・キリストでもないかもしれませんが。そして、彼は道徳的な模範ではないかもしれませんが。あなたは牧師に票を投じるのでも、イエスに票を投じるのでもありません。大統領に投票するのは。彼の実績は、彼がどれ

だけこの国を愛しているか、どれだけこの国を大切にしているかを証明しています。私には理解できません。なぜか分かりませんが、すごく腹が立つのです。私は無知なキリスト教徒がたくさん騙されて、彼は悪であり、その平和条約が悪いものだと思い込まされるのを見てきました。つまり、皆さん、勘弁してくださいよ。あなたはイスラエル人として、私が私にとって何かひどいものに賛成すると思いますか？

[バリー牧師] そうだね、アミール、私が思うに、覚えておかねばならないことの一部は、あなたが先に言ったことで、この不法の人は教会が取り除かれぬ限り、権力を握ることはできません。

[アミール] もちろんです！

[バリー牧師] それに、黙示録17章を加えます。彼も、彼に協力する者たちも、大患難の時までは、王国を手にしません。

[アミール] もちろんです！

[バリー牧師] つまり、黙示録17章に書かれていることを考えると、今のどんな政治家は、マクロンでもだれでも、候補者ではありません。だから、あなたが言う通り、「トランプには過去があるから投票できない」という話をよく耳にします。まあ、神が私たちに対して、そんな態度を取らなくて良かったです。

[アミール] その通りです。

[バリー牧師] 過去があるから、あなたを使えない。ええ、そうです、彼は粗削りです。人に向かって吠えたり、大声で話したり、いろいろあります。でも、私たちは、この世界で生き残るために、ピットブル（闘犬）のような態度の人を探しているんです。他の国々を見ると、トルコでは、ピットブルが指揮を執っています。ロシア。彼らもピットブルが支配しています。戦場に行くのにチワワは必要はないんです。「気持ち悪いジョー（バイデン）」みたいな名前のついた人も要りません。我々に必要なのは…、アミール、おもしろいですよ。というのも、あなたがたの首相と我々の大統領は今や、世界で唯一残っているナショナリストのリーダーですからね。

[アミール] そして、彼らは自国の少なくとも40~50%にも好かれていません。

[バリー牧師] そうです。

[アミール] この反キリストは、全世界から崇められます。

[バリー牧師] そうです。

[アミール] トランプは全世界に崇められていますか？冗談でしょ？ネタニヤフは？お聞きください。皆さんのイスラエルへの配慮には敬意を表します。しかし、本当にイスラエルを愛するならば、トランプ氏にホワイトハウスに入ってもらいたいし、バイデン氏には入ってもらいたくないのです。それは私がイスラエル人として皆さんに言えることです。そして私は実際に…それはいつも言っていることですが、聖書を読んでください。みことばを読んでください。誰かが反キリストであるかどうかを調べたいときは、聖書に書かれていることを見ましょう。引き止める者が取り除かれるまでは、彼は現われることはできません。大患難が始まる前に、現れることはできません。彼は全世界から崇拝されなければなりません。勘弁してくださいよ。皆さん。誰も、今のところ、その説明に当てはまる人はいません。ちなみに、彼が明らかにされる前に私たちは連れ去られるのですから、私たちは誰もそれについて心配するべきではありません。そうなんですよ？

[バリー牧師] もちろん。そしてアミール、それはすごく重要なポイントです。このことを認識しているからです。トランプ氏は木曜日にUAEを呼び出して「明日取引をしよう」と言ったのではありませんでした。これは、ずっと準備されてきたんです。しかし、特にイスラエルの新聞で報道されていることの一つは、これは選挙に合わせてタイミングを計ったのだ、と。これらの人たちは、「私たちにはトランプ政権が必要だ」と考えているから…

[アミール] その通りです。

[バリー牧師] UAEとすべてのアラブ湾岸諸国は、「我々にはこの男が必要だ。共同包括計画やなんかに戻る人はいない。この方向に物事を進め続ける人が必要だ。」これは、選挙に合わせて非常に計算されたもので、うまくいけば、トランプ氏の方向性に、国内だけでなく、国際社会でも支持を集めることができるでしょう。

[アミール] もう一点、視聴者に理解していただきたい点があります。イスラエルを分裂させるから、トランプは悪だと言っている教師もいます。ちょっと説明させてください。聖書のヨエル書3章は、主がすべての国々をさばかれると述べています。神は彼らをヨシャパテの谷に連れて行き、彼らがイスラエルに対して何をしたかを理由に、彼らをさばきます。(2節参照)では、読んでみましょう。

主は言われます。「彼らはわたしの民を諸国の民の間に散らし、わたしの地を自分たちの間で分け取ったからだ。…子どもを…与え、…少女を売って…」(ヨエル3:2-3参照)

これは和平協定ではありません。これは戦争です。これは大きな侵略です。ですから、神は土地を分割した国々をさばかれるでしょうが、それは平和協定によるものではなく、戦争を通してです。ヨエルは平和協定について話していません。イスラエルが結ぶ平和協定は、通常、イスラエルに利益をもたらすものであって、イスラエルを傷つけるものではありません。愚かな動きをしたのは、ビル・クリントンがアラファトとの調印を迫ったオスロ協定だけです。そして、私たちはこんにちに至るまでも、そのツケを支払っています。しかし、私は皆さんに理解していただきたいのです。よく聞いてください。パレスチナ国家は絶対にできません。これはアラブ世界が、イスラエルとの和平に向けて動き出すために仕組まれたものです。今まで我々は、パレスチナ人に人質にされていたからです。そして彼らは、「我々が望むものを与えるまではアラブの国との正常化はないだろう」と言います。ドナルド・トランプが来て、「逆のことはするのはいかがかな？」と言います。私たちはまずアラブ世界に行き、平和を持つ。そうすれば、あなたはイスラエルとの平和を持つことの利点を見ることができる。パレスチナ人はトランプ合意に賛成できません。彼らはそれ以上のものにノーと言いました。私が間違っていなければ、2001年にエフード・バラク(第14代イスラエル首相)は彼らに旧市街全体を約束しました。エフード・オルメルト(第16代イスラエル首相)は2008年に、旧市街のほぼ全域を与えたが、彼らはそれでもノーと言いました。どうして?我々が彼らに全てを与えなかったからです。彼らにとっては、全部かゼロかのどちらかです。ここ70数年間ずっとそうです。皆さん、彼らは決してこの取引に同意することはありません。したがって、パレスチナ国家は決して存在しないでしょう。しかし、少なくとも今は、私たちは彼らを待つことはありません。少なくとも今は、誰も彼らを待っていません。少なくとも今は、私たちはアラブ諸国との和平を進めていて、それは私たちとアラブ諸国に利益をもたらすものです。そして、私はそれを喜び、誰もがそれを喜ぶべきだと思います。これは怪しげなことではありません。これは良いことです。エゼキエルのシナリオに入りたいなら、「強く、安心で、安全で、豊か」、この契約は目的を果たします。ちなみに、私たちは誰一人として、聖書の預言の成就を止めることはできません。エゼキエルの預言は実現するでしょう。

[バリー牧師] そう言ってくれてとても嬉しいです。このシナリオの全体像を見るなら、あなたが言ったように、聖書のレンズを通して見る必要があります。そして、私のお気に入りのみことばの一つは、アモス書9章14~15節です。

「わたしは、わたしの民イスラエルの繁栄を元どおりにする。彼らは荒れた町々を建て直して住み、ぶどう畑をつくって、そのぶどう酒を飲み、果樹園を作って、その実を食べる。わたしは彼らを彼らの地に植える。彼らは、わたしが彼らに与えたその地から、もう、引き抜かれることはない」とあなたの神、主は、仰せられる。」(アモス9:14~15)

それは実現しない、それだけです。誰が計画を立てようが関係ありません。それは無理なんです。

[アミール] そして、そこに分裂が起こるのは、反キリストが戦争をしようとしている時だけで、そしてイスラエルの一部は、砂漠の主が準備される砂漠にかくまわれます…

[バリー牧師] ゼカリヤ書14章は、「彼らはわたしの町を分けた」と言います。(1~2節参照)でも、それはダニエルの70週目の間なので、それ以前ではなく、その間のことです。そして神は、「決戦の日に戦うように、それらの国々と戦われる」と言われます。(3節)

[アミール] その通りです。ということで、正しい視点で物事を捉えてみましょう。私は、トランプを神とか、救世主とか牧師とかにしてるわけではありません。彼は人間です。彼は怪しげな過去を持つ人です。ええ。それは百も承知です。しかし今は、神が彼に権力を与えています。そして今は、就任した日から彼はアメリカ国民に良いことばかりして、アメリカ国民の敵には悪いことばかりしています。皆さんにお伝えしたいことがあります。私はイスラエル人として、聖書的に彼とは何の関係もないことを彼の上に置くという罫には、はまりません。聖書から目を離さず、文脈を無視して解釈しないようにしましょう。「平和」という言葉は、それほど悪くないことを覚えておいてください。いいですか？そう、クリスチャンが「平和」と聞くたびに、「ああ、それは良くない！」いやいや、聖書には、私たちは平和に生きる努力が必要だと書かれています。平和に暮らすために祈る必要があります。いいですか？それは、悪いものではありません。そして、反キリストが和平協定を結ぶ時が来て、それは7年間であり、反キリストはそれを破ります。でも、我々は、その時にはここにはいないのです。私たちは誰も…あなたがその時ここにいるつもりなら、お好きにどうぞ。私は違います。その時まで、どうか私の言うことを聞いてください。正しいことに投票してください。家族のために投票し、キリスト教のために投票し、胎児のために投票し、親イスラエルのために投票してください。反対側はアメリカにとって悪魔的で危険な政策を推進しています。そして、私はアメリカだけではなく、世界にとってもだと確信しています。アメリカで起こることはすべて、最終的に、全世界に影響を与えます。

[バリー牧師] もちろんです。そして、2008年の選挙戦に戻って、いくつかのことを見てみると、オバマ大統領はこの選挙スローガンを掲げていました「私はアメリカを根本的に変えるつもりだ。」そして、彼は本気でした。つまり、彼は国の根本的な構造を変え、我々がどのように活動し、何を目標とするかを変えようとしていました。アミール、それ以来ずっと私たちはそれを見てきました。ソール・アリンスキーの「過激派のためのルール」という著書に基づいた動きを見てきました。混沌を生み出し、基本的に人々が政府にのみ依存する福祉型の社会を作るために。彼らの戦略の一つは、混沌とした時期に入り込んで乗っ取るというものです。その手段や媒介物を通して、彼らが権力を握ることになり、私たちは社会主義の国に住むことになります。それが彼らのアジェンダです。もはや隠しもしません。

[アミール] 彼らは、もはやそれを隠そうともしませんね。

[バリー牧師] 探し求めていたものはこれだ。AOC (アレクサンドリア・オカシオ = コルテス) みたいな人が変なことばかり言っていますし、このグリーンプランとかもそうですがそして人々は「うん、いいですね。…」その要素の一つはクワード・ピヴェン法と呼ばれていて洗脳を通じて、主流の考え方にこれを導入しようとしています。そして、一つには、働くというような不便なことをしなくても、国民が経済的に行政に依存するという仕組みを作る必要があるということです。

[アミール] はい、おかしな話ですね。

[バリー牧師] つまり、働かなくても、アメリカ人であるだけで、お金がもらえるのです。

[アミール] …ところで、彼らはそう言っているんです。「俺のものは俺のもの、お前のものも俺のもの。」狂気の沙汰です。皆さんにお伝えしたいのは、警察が黒人にしたことに対して、多くの非難の声を聞きました。数日前にロスで警官2人が撃たれたことをセレブたちが非難しているのは聞いてないんですが、至近距離から、処刑。ほら、不法は至る所にあり、法と秩序が必要です。おもしろいことに、反キリストは不法の人です。トランプ大統領は「法と秩序」と言います。それは正反対です。私には理解できませんが、皆さんにお伝えしたいことがあります。あなたの国を諦めてはいけ^{あきら}ないだけでなく、州も見限^{あきら}ってはいけませ

ん。カリフォルニアは超自由主義（リベラル）な州です。だからと言って、クリスチャンは投票に行かないべきでしょうか。どうせ私の一票ではどうにもならないから。気は確かですか？選挙人団は投票した人たちの要素で構成されています。投票する保守派が増えれば、選挙人団は違って来るでしょう。お聞きください。神は私たちに選択肢を与えてくださいます。毎回、それは選択です。「わたしは、…あなたの前にいのちと死、祝福とのろいを置く。あなたはいのちを選びなさい。」（申命記30:15~20参照）それは選択です。私たちの人生は、私たちが選択することで成り立っているのです。その権利があるのに、なぜその選択と投票をしたくないのですか？いいですか、皆さんに力があるとすれば、それは投票することです。その人たちを政権に就かせて、その人たちが確実に仕事をするようにしてください。

[バリー牧師] その通りです。視聴者のために、言いたいことがあります。あなたは疑問視されている事に触れたから。それは選挙人団のことです。選挙人団を廃止したい人々は、厳密に得票数で行きたがります。私たちは、その意味を正確に理解する必要があるのです。それは、大統領選挙のたびに、カリフォルニア州、ニューヨーク州、フロリダ州、テキサス州がアメリカの大統領を選出するという意味です。

[アミール] 大多数を占めているからです。

[バリー牧師] しかし、選挙人団は、人口に基づいて合衆国内のすべての州に、選挙人団での投票権を与えています。2人か50人か、何人でも。さて、残念ながら、カリフォルニア州は選挙人団内の選挙区ごとの投票に再編してほしいのですが、しかし、勝者が全部をとる州もあれば、小選挙区制の州もあり、1つの州で複数の異なる票を持つことができます。しかし、もし選挙人団を廃止すれば、46の州が発言権を持てなくなります。「誰がアメリカの大統領になるのか」という点で。

[アミール] クリスチャンなら、投票に行かないと夜もぐっすり眠れないですよ。そして、私はとても真面目に言っているのです。あなたがクリスチャンならば、これらはアメリカ史上最も重要な選挙です。

[バリー牧師] もちろんです。

[アミール] アメリカがアメリカになるか、アメリカがベネズエラになるか、どちらかです。間違いありません。そういうことなんです。一つ言えることは、「知らなかった」とは言わないでください。今すぐ投票するために登録して、投票してください。これらは簡単なことです。そして、それはあなたの義務です。特権であるというだけでなく、あなたの義務だと思います。私たちは社会に影響を与えねばなりません。私たちは地の塩であり、私たちは世の光です。そのようにイエスは山上の説教で言われました。（マタイ5:13~14参照）政府において、私たちの体制において、正義を推し進めることのできる基本的なことすらしないで、どうやってその光を照らすことができるのでしょうか。だから今、私たちを見ているアメリカ人の皆さんには、投票登録して投票に行くことをお勧めします。そして、あなたは正確にどう投票する必要があるか、ご存知です。正確に2つのものをご存知ですから。何が何に対抗しているか。超、超ははっきりしています。バリー牧師、ほら、明日はホワイトハウスでの祝賀会ですが、ちなみに、受け取った報告によるとイラン人は明日の式典を妨害するために何でもするだろうという諜報機関からの報告です。セレモニーから注意をそらすために、そこか、あるいは世界中のどこかで何かを引き起こすことによって。明日は平和になるように祈らないといけませんね。それが平和的に開催され、署名されることを祈る必要があります。そしてほら、アッヤトラーが怒っているなら、私たちは何か良いことをしたに違いありません。

[バリー牧師] 何か正しい事を。

[アミール] 正しい事です。

[バリー牧師] 今日読んだ記事の中に、ソレイマニの死の復讐のために南アフリカの大使を暗殺しようとする陰謀があるというものがありません。

[アミール] うわぁ！

[バリー牧師] それも、どうして？彼女はそれとは何の関係もなく、実は南アフリカではよく知られたハンドバッグのメーカーなんです。彼女は服飾関係、ファッション関係の仕事をしています。

[アミール] なるほど、彼らの腕は至る所に伸びています。

[バリー牧師] 注意をそらすためだけに。

[アミール] ということで、明日の式典に向けて祈り続けましょう。バリー牧師、ありがとうございます。明日のカリフォルニア時間、太平洋時間で午後6時に預言座談会をジャン・マーケルさんとバリー・スタグナー牧師と私とで行います。明日のテーマは「不法」についてです。そのことについてお話ししようと思います。ひどいトピックですが、素晴らしい議論だと思います。

[バリー牧師] ものすごく素晴らしいでしょう。

[アミール] はい、ひどく素晴らしいです。さて、ご一緒していただき、ありがとうございます。バリーと私のソーシャルメディアをご活用することをお勧めします。バリーをここに貼り付けて、…失礼、これがあなたで、これが私です。明らかに分かりますが。皆さん、私たちの働きのために引き続きお祈りください。私たち2人は、来週末のダラス/フォートワースで、AwaitingHisReturnカンファレンスで教えます。そして、その時に、主が本当に油を注いでくださるよう祈ります。たしか、1800人以上は来場すると予想されているので、喜んでます。私たちのために祈ってくださりありがとうございます。アロンの祝福で締めくくりたいと思います。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記6:24~26 ヘブライ語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記6:24~26 英語)

すべての理解を超えたその平和は、平和の主である、平和の君からしか得られません。今ここに、そして永遠までも、皆さんに平和を与えることができます。その御名はイエシュア、イエスの御名によってお祈りします。

アーメン。

ありがとうございました。

God bless you!

カリフォルニア州オレンジ郡より、シャローム、さようなら。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCUcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.10.05 (Mon)